



犀陵だより

第二号 平成23年4月15日

新年度のスタート

新年度がスタートして10日が経過しました。

年の初めには「一年の計は元旦にあり」と言われるように、何事も初めが肝心です。この10日間を見る限り上々の滑り出しであるように思います。緊張感のある今の気持ちを大切にしていきたいと思います。

入学式・一学期始業式での学校長の話



入学式

皆さんご入学おめでとうございます。今年は21年目。新たなスタートの年です。入学を心から歓迎します。

本校の学校目標は、『知に生き 愛に生き 信に生き 美に生き 夢に生きる』です。かなえたい夢や希望が叶うように私たちも一生懸命お手伝いしたいと思います。

新しい出会いが始まりました。教科担任制では大勢の先生方から教わります。部活や生徒会では先輩の生徒と関わり、活動の内容も専門的で深くなります。

学校では何を学ぶのか。「君の可能性 なぜ学校へ行くのか」という本には中学生にとって大切なことは「客観的に物を見られる生徒でありたい。自分の主張だけでなく譲歩し理解することで他の優れたものがわかり豊かなものが見えてくる。中学時代はその大切なものを身につける貴重なとき。」とあります。

一人では勉強はできない。友達や先生と一緒に理解を深め合うことができるのです。勉強には思いやりや優しさを耕すことも入るのです。

二度とない中学時代に自分を一層磨き、心を育て、美しい青春を切り開いてほしいと願っています。

三月に東北関東大震災がありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りします。犀陵中学校では義援金がたくさん集まりました。多くの学校が再開の見通しがついていない中、幸、私たちは入学式を迎えられました。自分にできることは何かを考え、具体的にしてみることが一人ひとりに必要であろうと思います。



始業式

21年目新しいスタートの年です。みんなの様子大変素晴らしく、(始業式で発表した)二人の発表も素晴らしかったと思います。

1年生2年生は新しい出会いがありました。一期一会という言葉があります。この出会いに感謝し、どの学級にも負けない学級にできるよう励んでほしいと思います。3年生はいよいよ最後の学年。体も心も成長し今日があるという自覚をもってください。最高学年として1,2年をリードしていつてくれることを期待しています。

1年が始まるこの1学期に当たり目指してほしい姿があります。

- 一 一心に学ぶ生徒。学習をしっかりとやりましょう。
- 二 挨拶を交し合う生徒。温かい声がけ、挨拶をしましょう。
- 三 進んで自治活動をする生徒。学年・学級、生徒会の仕事、部活をやりましょう。
- 四 精一杯清掃する生徒。思いを入れて磨きましよう、校舎と心。
- 五 歌声を響かせる生徒。歌声は自分も学校も元気にしてくれます。

犀陵中の生徒の皆さんが一年間で大きく伸びていくことを楽しみにしています。

もう一つ伝えたいことがあります。それは「命」ということです。東北関東大震災では未だに行方不明の人がたくさんいます。自分に与えられているかけがえのない命、一人ひとりが輝かせて学校生活を送って下さい。だめな自分、だめな友達などはいません。違いを認め合って思いやりを持って生活しましょう。

素敵な学校を皆でつくっていきましょう。

オリエンテーション

新年度のスタートにあたり、集会の入場、整列、礼の仕方などや清掃、学習、給食について、身支度や方法、心構えなどを確認するオリエンテーションが7日、8日と行なわれました。

初めての集会で緊張感もあったとは思いますが、大変整然とした集会でした。整列一つ取ってみても、縦、横、斜めがきちんとそろい大変美しい状態でした。話を聞くために座った後起立した時にも、座る前とほとんど同じ状態になっていました。新任の職員からも「素晴らしいですね。」という声が聞かれました。



縦横揃えば自然と斜めも揃う



掃除の始めに行う黙想の練習



練習どおりに実践できた礼(生徒会入会式)



こんな場面でも現れる“心”

行事いろいろ

7日には生徒会入会式、8日には交通安全教室が行なわれました。3年生は10日～12日まで奈良・京都に修学旅行に行ってきました。1,2年生は早速テストがあり、発育測定や心電図検診も今週は行なわれました。来週は3年生のテストがあり、避難訓練、第1回目の生徒集会・生徒会も予定されています。

年度当初は行事が目白押しで慌しかったり忙しかったりですが、その分中身の濃い毎日だと思います。「始めよければ終わりよし」としたいものです。



生徒会入会式の1年生入場

* 年度当初は気持ちがせわしくなりがちです。交通安全には特にご配慮をお願いいたします。